

健康福祉部長兼福祉事務所長（中村直人君）

社会福祉協議会の職員のスキルアップについてではありますが、行政と社会福祉協議会とは地域福祉を推進するパートナーとしてお互いに連携・協力していかなければなりません。

今年度につきましては、市から管理職及び係長級以上の職員7名を社会福祉協議会へ派遣し、施策の調整や社会福祉協議会のプロパー職員の育成に努めているところであります。

御質問にもありますとおり、市と社会福祉協議会との連携を図り、職員同士の相互理解や資質向上のためにも、人事交流は非常に大切であると考えております。

このため、来年度から社会福祉協議会のプロパー職員についても、市への派遣を受け入れる人事交流を行い、市での実務経験や職員研修等を通じてプロパー職員の知識・技術の向上が図られるよう努めてまいりたいと考えております。

また、社会福祉協議会においては、多様化する福祉の課題に対応できるプロパー職員の育成を図るとともに、福祉の専門職を含めた計画的な職員採用により、社会福祉協議会の適正な職員配置にも配慮してまいりたいと考えております。